

科目名	看護研究方法論 I (量的研究) Nursing Research Methodology I		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510) 大西 範和 (501) O'Brien Myles (505)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 後期	科目 区分	共通科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
科目目的	量的研究の方法は看護研究の中でも重要な位置を占める研究方法の一つである。この講義では、量的研究の枠組みから解説を行い、量的研究の方法を理解し実践する際に必要となる基本的事項を学ぶ。											
到達目標	1. 量的研究に必要な基本事項についての知識を身につける。 2. 数量データを用いる研究の計画を立てることができる。 3. 数量データが意味する内容を理解できる。											
成績評価方法 (基準)	レポート課題(80%)、授業への参加態度(20%)などをもとに総合的に判断する。											
教科書	必要に応じて適宜指示する。											
参考書等	必要に応じて適宜指示する。											
受講者への メッセージ	数量データを扱うことは科学研究の基本となります。修士論文でどのような手法を用いた研究を行うかに関係なく、量的研究の方法を基本的な知識として位置づけ、積極的に受講するようにしてください。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	イントロダクション				看護研究における量的研究の位置づけについて理解する。				小池	講義		
2回	量的研究の基礎 ①				母集団と標本、標本抽出の方法などについて理解する。				小池	講義		
3回	量的研究の基礎 ②				データの収集方法とデータの数量化に関する手続きについて理解する。				小池	講義		
4回	量的研究の基礎 ③				尺度水準など量的データの特徴について理解する。				小池	講義		
5回	量的研究の基礎 ④				記述統計、推測統計など、量的データの分析方法について理解する。				小池	講義		
6回	量的データを用いた研究方法 ①				研究デザイン、仮説の検証方法について学ぶ。				小池	講義		
7回	量的データを用いた研究方法 ②				研究デザインと分析方法の関係について学ぶ。				小池	講義		
8回	質問紙法の実際 ①				尺度開発の方法について、実際の尺度開発の文献を読みながら、尺度開発の手続きについて学ぶ。				小池	講義		
9回	質問紙法の実際 ②				質問紙を用いた調査に関して、実際の文献を読みながら、調査方法とデータ分析について学ぶ。				小池	講義		
10回	実験的研究の実際 ①				実験的研究の流れについて例を用いて概括し、課題の抽出、仮説の設定、実験の計画、方法の確立などを学ぶ。				大西	講義		
11回	実験的研究の実際 ②				測定の実際を体験し、指標や測定方法の妥当性、実施の正確性、測定の注意点などについて学ぶ。				大西	講義		
12回	実験的研究の実際 ③				得られた実験データを処理し、結果を解釈しながら、数値の処理、算術平均、統計処理、グラフの作成、仮説や実験計画に基づいた考察などについて学ぶ。				大西	講義		
13回	研究の実際 ①				講師が行った学習方法効果の効果研究の結果を紹介し、測った数値の分析から考察と結論へのプロセスの実際の例について学ぶ。				O'Brien	講義		
14回	研究の実際 ②				研究における注意点として、いくつかの分野から問題があるデザインの調査や実験の実際の例；統計の誤解を招くような解説の実際の例などの紹介をする。				O'Brien	講義		
15回	まとめ				受講生各自の研究テーマと研究計画について発表し、この授業を通して学んだ成果を踏まえた討論を行う。				講師 全員	講義		